資料 2-1

北陸圏広域地方計画　中間整理（案）【構成】

はじめに

はじめに

1　計画の性格　　2　計画期間　　3　計画区域と隣接圏・府県との関係

現状と課題

北陸圏の現状

○充実した居住環境や子育て環境、就業機会にも恵まれた良質な生活環境
○3,000m級の山岳から急流河川や扇状地、日本海まで多様な生態系と健全な水循環系を育む豊かな自然環境
○歴史、豊富な資源を活かした雪国ならではの生活の知恵が複合した独自性のある文化
○都市の利便性と農山漁村のゆとりを身近に享受できる環境
○豊富な水や資源を活かした、伝統産業から先端産業まで日本海側有数の工業集積など、多様な産業の集積
○三大都市圏や環日本海諸国をはじめとする東アジアに対するアクセス性の向上

北陸圏の課題

(1) 雪や地震など厳しい自然災害への備え
(2) 美しい自然環境・地球環境の保全への対応
(3) 連接する都市と自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力の活用
(4) 日本海側有数の人口・産業・経済等の集積の活用
(5) 食料を供給し食文化を育む農林水産業の活性化
(6) 広域交通の充実による環日本海諸国や三大都市圏へのアクセス性の向上に伴うポテンシャルの活用
(7) 太平洋側の大規模地震など災害リスクへの対応
(8) 豊かで多様な自然や文化資源の集積など地域資源の活用
(9) 漂着ゴミ、黄砂などの増大する環境問題への対応

将来像

将来像 1
人々をひきつける「暮らしやすさ」日本一

【北陸圏の位置付け】
豊かで多様な自然、魅力ある都市や農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と域外・国外との交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中枢圏域

将来像 2
世界に開かれた日本海側における交流の中枢拠点

新しい将来像実現に向けた戦略目標

人々をひきつける「暮らしやすさ」日本一

1　安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実

(1) 災害に強い安全・安心な暮らしの充実
(2) 美しい国土の保全・管理と地球環境にやさしい暮らしの充実
(3) 子育て支援の充実及び女性・高齢者や団塊世代をはじめとした誰もが暮らしやすい生活環境の形成
(4) 都市と農山漁村が共生する持続可能な連接型都市圏の形成

2　進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成

(1) 地域主体の戦略に基づく国内外からの企業や人材誘致による地域産業の活性化
(2) イノベーションの促進による活発な新事業・新産業の創出
(3) 食料・木材等の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開

世界に開かれた日本海側における交流の中枢拠点

3　三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアとの人・物・文化の交流の基点となる日本海側の中枢拠点の形成に向けた基盤の強化

(1) 国内外に展開する信頼性の高い交通ネットワークの形成・強化
(2) 太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化

4　地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

(1) 国内・国際観光・交流の充実
(2) 伝統的な産業、自然・歴史に培われた暮らしの継承と発信
(3) 環境問題の解決をテーマとした環日本海諸国をはじめとした東アジアなどとの国際協調・貢献の推進
(4) 国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進

広域連携プロジェクト

広域連携プロジェクト

1　防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化
2　立山・黒部や白山など山岳地域の自然環境保全・活用
3　住み良さ日本一！日本海沿岸の連接型都市圏形成
4　いきいきふるさと・農山漁村活性化
5　東アジアに展開する日本海中枢拠点形成
6　北陸発エネルギー・環境技術拠点形成
7　食料供給力増強・食の北陸ブランド展開
8　高速交通基盤を活かした北陸国際観光交流圏形成
9　次世代に継承する日本海沿岸地域の環境保全

隣接圏域との交流・連携

隣接圏域との交流・連携

1　北陸圏・中部圏連携の基本的考え方
2　北陸圏・中部圏の連携した取組
3　その他隣接圏との交流・連携

計画の実現に向けて

計画の実現に向けて

1　多様な主体の主体的な参加と協働
2　持続可能な圏域形成に向けた人材育成
3　広域的な発想の下での地域連携の促進
4　投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理
5　他の計画・施策との連携
6　計画のモニタリング